

一般質問通告表

令和3年第3回始良市議会定例会（9月2日）

氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
3. 吉村 賢一	1. 始良市を都市として俯瞰的に見る	<p>(1) 道路網の整備について</p> <p>国道10号は白浜地区において4車線化整備の緒が見えてきた。しかしながら災害時に鹿児島市と結ぶ迂回路はどのように考えているか。</p> <p>一方で加治木市街地から隼人町小浜までの混雑は全く変わらないが、この区間の渋滞解消策の長期計画の目途はどうなっているか。</p> <p>また、市の主要な街路計画はどのような年次計画になっているか。</p> <p>(2) 旧3町の一体化について</p> <p>今回の新庁舎建設はその一步を踏み出すものと捉えたい。即ち、それぞれの地域の核が再編され、全市民が本庁舎から遠隔地にあっても不便を感じない福利厚生が担保されるものと思うがどのような取組方を考えているか。</p> <p>(3) 市民参加について</p> <p>「納税通知書」市民がよく税金を取られるという、この言葉は何年来使われているのだろうか。ロンドン市役所では分担金の文字が使われているようである。そのように通知書名を変更できないか。</p> <p>(4) 都市の定員と公共施設について</p> <p>理論的に1人の市民の増加は、水の供給、下水の排水、生活空間として住環境の整備、公園や福祉の充実が求められる。始良市の人口の目標とこれらの受け入れ態勢（住民の最低限の生活環境基準）は十分か。</p>	市長 教育長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>(5) 保育・教育の場としての都市について 保育所、幼稚園、児童クラブなどは充足しているか。</p> <p>(6) 都市のコミュニティについて コミュニティをつくる人間は必ずしも同質のものではない。様々な人が集まり、共同で考え、共同で行動することが重要であるが、自治会加入者の減少傾向をどうみるか。</p> <p>(7) 始良市の魅力は何か。 住みやすい環境、訪れる人を温かく迎え入れるまち、ではないかと思うが市の方針は如何か。</p> <p>(8) 今までの質問を振り返って始良市が中長期的に目指すまちは具体的にどのような計画になるか。</p>	
4. 堂森 忠夫	1. くすの湯の運営について	<p>(1) 始良市温泉センターくすの湯はオープン後、泉源が原因による故障や修理等が幾度も重なり、工事や営繕費用が想像以上の金額に増えている。合併後の設備や修繕費用等にどれ位の金額を投資したのか。</p> <p>(2) 現状の運営の状態では、後世に負の遺産を継ぐことになるので、温泉を白湯に変更するなどの対策を図るべきと察するが考えを問う。</p> <p>(3) くすの湯の周辺は、自然と水田に囲まれて心が和みやすい環境にある。この環境と施設を活かし、次代に沿ったアスリート等の研修宿泊所として利活用に努められないか問う。</p>	市 長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	2. 各施設等の運営状況と改善について	<p>(1) 永原校区入口の市道沿いの市倉庫は、屋根面の一部が腐食し落下寸前であるが、修復してNPO団体等の活動拠点として管理運営を任せてはどうか問う。</p> <p>(2) 昭和時代の経済成長期に農産加工施設などが設置されたが、これまでの運営状況を問う。</p> <p>(3) 各施設等の利用や改善を図り、農産加工製品等の開発や施設の維持存続の為に、地域の次代を担う育成を企画し、各施設等の活性化を推進できないか問う。</p>	市 長
5. 岩下 陽太郎	1. 児童生徒の自殺が起きたときの緊急対応について	<p>2018年、鹿児島市の公立中学校に通っていた男子生徒が担任教師の指導を受けたあと自殺した事案について鹿児島市教育委員会は第三者調査委員会がまとめた報告書を今年8月ホームページで公開した。</p> <p>ホームページに公開された報告書は名前などを黒塗りにした上で、関係者からの聞き取った内容をはじめ遺族への情報開示のあり方などの提言が約100ページにわたり作成されている。</p> <p>児童生徒の成長の視点に立って生徒指導の見直し、児童生徒の自殺予防教育、教師のメンタルヘルスや働き方改革といった予防活動、事件が起こった際の早急な対応などが具体的な対策・提言として記されている。そして、遺族をはじめ児童生徒や保護者への心のケア、報告書を活用した定期的な教員研修の実施などを求めている。</p> <p>始良市で児童生徒の自殺が起きたとき</p>	市 長 教育長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	<p>2. 子どもたちを中心とした男女共同参画の推進について</p> <p>3. 令和時代の学校設備のスタンダードについて</p>	<p>の緊急対応に関する考え方と対応・対策等を示せ。</p> <p>小中学校では、児童・生徒の発達段階に応じて男女共同参画の視点を踏まえた人権に関する学習が適正かつ的確に行われている。</p> <p>しかしながら、子どもたちは学校や教育・学習以外から固定的性別役割分担意識や社会通念上の男性像・女性像のとらわれにつながる機会が多く、最終的な男女共同参画意識の醸成につながっていないのではないかと不安を覚える。</p> <p>子どもたちを中心にした形での男女共同参画の推進に対する見解を問う。</p> <p>(1) 7月14日、鹿児島県議会文教観光委員会が始良小学校で情報端末を使った授業の視察を行った際、多くの児童が情報端末・教科書・ノート等の教材・教具を広げるスペースに苦戦している姿や、机と机の狭い通路を指導教諭が巡視しにくい状況のようであった。</p> <p>新しい生活様式や多様な学習活動に対応する設備環境の整備なども含め、始良市の考える令和時代の学校設備のスタンダードを具体的に示せ。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置や鹿児島県「緊急事態宣言」が発令され、様々な対策を求められる状況になっている。</p> <p>喫緊で教室内での人との間隔等の対応策はどのように考えているのか。条件をクリアできない場合、分散登校の実施などを行う予定なのか。</p>	<p>市 長 教育長</p> <p>市 長 教育長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
6. 竹下 日出志	1. 児童通学路の安全確保へ	<p>6月28日に千葉県八街市で飲酒運転により、下校中の小学生の列にトラックが衝突し、児童5人が死傷する痛ましい事故が発生した。</p> <p>そこで以下について問う。</p> <p>(1) 通学路における交通安全を脅かす交通事故が後を絶たないことから、教育委員会、学校が主体となって警察と道路管理者と連携して、通学路の合同総点検を実施することになった。本市における取組を問う。</p> <p>(2) この事故を契機に飲酒運転の根絶に向けた施策をどのように考えるか。</p>	市 長 教育長
	2. 公共交通サービスの「移動の不便」解消について	<p>高齢者らによる自動車運転免許証の自主返納は、昨年だけで約55万人に上っている。</p> <p>地方を中心として人口減少により公共交通サービスの維持も難しさを増し、高齢者や障がい者といった交通弱者への支障が大きな課題となっている。</p> <p>「移動の不便」解消に向けて、目的地まで送迎してもらえるデマンド（予約）型の乗合タクシーや公共交通路線の拡充について問う。</p> <p>(1) 大雨による災害で木津志地区が通行止めになり迂回しなければならないがデマンドタクシーの運行を実施する考えはないか。</p> <p>(2) 利用者の要望に対応するため重富地域やその他の地域で路線バスを拡充する考えはないか。</p>	市 長 教育長
	3. 高齢者の「スマートフォン教室」について	<p>内閣府調査によると70歳以上の高齢者の約6割は、スマートフォンなどの情報通信機器を利用していないという結果がでている。</p>	市 長 教育長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>誰もが、恩恵を受けられるデジタル社会の実現には、世代間の情報格差解消が鍵を握ると考える。</p> <p>総務省は今年度、高齢者にスマートフォンの利用方法やオンライン手続きを丁寧に教えてくれる「デジタル活用支援員」を約6千人配置し、「スマートフォン教室」などを全国2,172か所で開く方針である。</p> <p>デジタル技術を活用し、災害時の避難誘導や必要な行政情報が登録なしで対象者に届くプッシュ型行政サービスの実現に、本市でも「スマートフォン教室」を実施する考えはないか。</p>	